

## 「危険！携帯電話があなたの脳を調理する！」

これはイギリスの「サンデー・タイムズ」紙に掲載された衝撃的な記事の見出しです。

知っていますか？ 浦内集落が危険な電磁波にさらされる！

現在、新たに、強い電磁波を発生するソフトバンク(ボーダホン)の携帯電話の電波塔が 浦内集落内に設置されようとしています。



危険な電磁波は、見えないだけに、私たち人間や動物を含むすべての生物にとって、非常に恐ろしいものです。

電波塔周辺では携帯電話を使用するしないにかかわらず、四六時中常に強い電磁波を浴びることになります。その電磁波は、通常のドコモ携帯電話の電磁波の3倍近い周波数です。また、この電磁波は、電波塔から300メートル前後の範囲内が最も強いといわれています。

この電波塔をこのまま設置させてしまうと、私たち浦内集落の住民やペットは常にこの強い電磁波を浴びながら生活しなくてはなりません。

また、県道のすぐそばという、景観上においても非常に好ましくない場所です。

### 設置されてしまってからでは、撤去してもらうことは不可能です

携帯電話各社が次々と電波塔を西表島内に建設し、このままでは、電波塔だらけの健康上も景観上も最悪の島になってしまいます。

携帯電話各社は、営利のみを追求するのではなく、人体や島の生物 自然に配慮し、各社がばらばらに電波塔を設置するのではなく、人体やその他生物景観に影響が少ない方法に検討してもらおうよう、役場や各社に働きかけたいと思います。

次ページに、携帯電話の電磁波の恐怖を抜粋した資料を添付いたします。

携帯電話には電子レンジと同じ種類の電磁波（マイクロ波）が使われています。  
それはテレビやラジオに使われている電波とは異なり超高周波であり、更に次々と高性能化される携帯電話はより高い周波数を使用し問題をより深刻にしています。  
欧米諸国においては携帯電話に使われている電波が人体に悪影響を及ぼす事は周知されており現在はそれがどの様に影響あるかの研究に取り組んでいます。  
しかし日本政府は根拠のない安全性を唱え経済を最優先として国民の健康を二の次としています。このままでは第二の水俣病やアスベスト問題となりかねません。  
この問題は一部地域（水俣）や使用者（アスベスト）だけに影響を与えるものではないのでより大きな問題となる恐れがあります。

### 電磁波にはこんな危険性があるとされています。

- がんの増加（白血病、脳腫瘍、乳がん、睾丸がんなど）
- 白内障、網膜剥離
- 生殖機能の異常（奇形児出産、流産、ダウン症、精子の減少など）
- 体調不良（耳鳴り、めまい、頭痛、倦怠感、不眠など）

すでに健康に関心の高い欧米諸国（アメリカ、スウェーデン等）では、脳腫瘍や白血病の原因として携帯電話会社に対する訴訟が始まっています。

アメリカでは携帯電話大手メーカー『モトローラー社』の研究開発員数名が、『脳に腫瘍ができたのは、長年研究の為、携帯電話を毎日使い続けた事が原因』として『モトローラー社』を提訴。

訴訟問題に発展し、海外マスコミは社会問題として電磁波の人体に与える影響に注目。

中継局アンテナからは携帯電話機と違い、常時強い電磁波を周辺に照射しています。  
このため中継アンテナ周辺はより危険性が高く、日本全国各地でも中継塔建設反対や撤去を求める住民運動が広がっています。

西表島に設置されている中継局は大きなアンテナで広い範囲をカバーするタイプで都会にある小さなアンテナと異なり強い電波を発信しているのでその周辺に与える影響はより大きい。

**アンテナの種類や塔の高さにより変化しますが通常はアンテナ直下よりアンテナから約300メートル前後付近の電磁波が最も強くなります今回の浦内地区のアンテナ設置場所は正に浦内集落内が最も強いエリアとなってしまいます。**

又 先日環境省の新聞コメントにもありましたが、西表島の世界遺産登録に向けて現状の携帯電話の電波塔が障害になると言っています、にもかかわらず新たに道路際に設置する事は更に障害を増やすことになり問題だと思えます。

## 日本の法規制は世界一遅れている

欧米では、健康を害さない為に政府による厳しい法規制が次々と実施され日本の法規制の基準値の甘さは突出しています。スイスやイタリアの基準値の約100倍から250倍、オーストラリアの規制値とくらべれば、実に**100万倍**もの強力な電磁波を野放しに垂れ流しているというのが現状です。

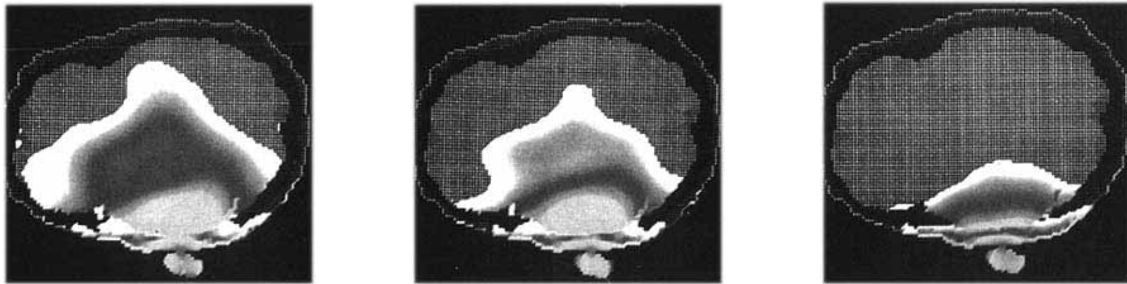
経済発展を優先するあまり最悪な数々の公害をもたらしている中国ですら日本政府の200分の一の値に規制しています。

イギリス、ドイツ、ロシア等は16歳以下の使用禁止を政府が勧告しています。

**それは子供が大人より体内の水分比率が高いため影響を受けやすいからです**

マイクロ波はホットスポット効果と言って、球状の物体の中心に電磁波が集まり（電子レンジと同じ）熱を発生させるという特徴があります。脳の中心から集中的に温まって来ると考えられます。

これも、頭がちいさくて頭蓋骨が薄い子供のほうがより影響を受けやすいと言えます。



5オの子供の頭を電磁波が貫く様子

10オの子供の頭を電磁波が貫く様子

大人の頭を電磁波が貫く様子

携帯電話利用で、脳を有害物質から守るバリア構造に穴が開く？2003.1.30 海外報道  
携帯電話の使用は健康に悪影響を及ぼすか——この疑問に新たな角度から光を当てるかもしれない研究成果が発表された。スウェーデンの研究チームが、世界で最も広く使われている方式の携帯電話が発する電磁波によって、ラットの脳に「穴」が開くことを確認したのだ。

スウェーデンのルンド大学神経学科リーフ・サルフォード教授を代表とする研究チームは、生後12週～26週のラットを『GSM』方式の携帯電話の電磁波にさらす実験を行なった。実験対象となったラットは、人間の年齢で言えばティーンエイジャー——世界的に携帯の使用率が最も高い傾向にある世代に相当するという。また、GSMは世界で最も普及している携帯電話方式で、とくに欧州、アジア、中東地域での利用が多い。

「発育途上の脳については、特別な注意が必要かもしれない。生物学的にも発達の過程においても、とりわけデリケートな時期だからだ」と、研究チームが<http://ehp.niehs.nih.gov/press/012903.html> 発表(英文)した論文には書かれている。

「発育途上の世代が日常的に携帯電話を使用していれば、数十年後、まだ中年のうちに悪

影響が出てくる可能性は否定できない」とも懸念している。

この問題は全ての人に直ぐさま同じ症状が現れるとは限りません体の弱い人、子供、過敏な人など人様々ですが、少なからず害のある物であれば健康で強靱な大人であっても数十年後に異常が出て来る可能性があります。

当地区にはかつて他の地区にお住まいの時家族全員とペットが携帯電話の中継局から出る電磁波によって大変な健康障害を起こし、その後浦内へ越して来てから障害が全て無くなったと言う身近なお話もあります、その家族にとっても現在この問題は脅威となっております。

皆さんもこの問題について考え真剣に取り組む時ではないでしょうか。

建ってしまったてはもう遅い緊急を要します！



西表の自然を愛する会  
伊藤正孝